

福岡市共働事業提案制度 令和元年度実施事業 最終評価

事業名 評価項目		No2
		今津校区の「空き家活用」と「貸家創出」による定住化促進事業
共働のプロセス		A
事業の成果	目的・目標の達成度	A
	市民への効果	A
	共働の相乗効果	B
最終評価		A
講評		空き家問題は全国的にも深刻ですが、空き家の活用には難しい面が多々ある中、自治協議会とも協力して地域に入り込み、ひとつひとつ細やかに対応した結果、子どもの増加等の成果に結びついていることが高く評価できます。 本取り組みは、他の市街化調整区域等のモデルになるものであり、またリモートワーク拡大等新型コロナウイルス感染症の影響を逆にチャンスにできる活動であるため、今回のノウハウを活用して他地区へも活動を広げられることを期待します。
令和2年度の状況		NPO等が主体的に実施

○採点の基準

- A: 共働の取組、事業の成果が優れている
- B: 共働の取組、事業の成果がやや優れている
- C: 共働の取組、事業の成果ともにどちらでもない
- D: 共働の取組、事業の成果ともに努力が必要である
- E: 共働の取組、事業の成果ともに不十分で、一層の努力が必要である